

第24回 美術教育研究大会・総会

2018年 11月 4日 (日) 東京藝術大学

8:30 ~ 受付 (会場: 美術学部中央棟 1階 ロビー)
 9:20 ~ 9:30 開会 (会場: 美術学部中央棟 第5講義室、第6講義室)
 9:30 ~ 11:40 口頭発表 (会場: 美術学部中央棟 第5講義室、第6講義室)

会場1 第5講義室		会場2 第6講義室	
口頭発表	① 9:30 ~10:00 鶴野 俊哉 学校美術館の活用方法と課題に関する一考察	展示をともなう口頭発表	① 9:30 ~10:00 中村 望起子 幼児期の美術教育における技法・素材の選択の在り方 —作家の制作過程を手がかりに—
	② 10:00 ~10:30 大野 匠 図工・美術科教育におけるアーティストの視点 —芸術家派遣事業の実践から—		② 10:00 ~10:30 上山 明子 古典技法を用いた「鬼のお面作り」—略式乾漆技法—
	< 10:30 ~ 10:40 休憩 >		< 10:30 ~ 10:40 休憩 >
	③ 10:40 ~11:10 橘 美知子 創造的意識体験を促す美術 —発想を変えるアート—		③ 10:40 ~11:10 展示をともなう口頭発表 野口徳雄 小川珠実 中丸彩希 中村望起子 山本玲央 藤澤穂奈美 幼児とアーティストが関わる造形表現の実践
④ 11:10 ~11:40 井戸川 敦 文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 「障害者の芸術活動を支援する新進芸術家育成事業とその育成を芸術系大学において行う基盤構築のための調査事業」に参加して			

< 11:40~ 12:40 昼食・休憩 >

12:40 ~ 13:10 展示発表者の作品説明 (会場: 美術学部中央棟 第3講義室)

13:30 ~ 14:30 総会 (会場: 美術学部中央棟 第1講義室)

< 14:30 ~ 14:45 休憩 >

14:45 ~ 16:50 大会企画 (会場: 美術学部中央棟1階 第1講義室)

講演: 高見 暁子 先生

(文部科学省 生涯学習政策局生涯学習推進課 障害者学習支援推進室長)

「美術と工芸の力—特別支援を考える—」

(大会企画)

第20回研究大会テーマを継承し、「これからの美術教育」を積極的に創り、考えていく契機として、本大会は「美術と工芸の力—特別支援を考える—」をテーマといたします。様々な隔たりが社会や人にある中、多様な価値観を共有できる美術と工芸は、それらを乗り越える力があります。そこで、文部科学省で障害者学習支援を推進していらっしゃる高見暁子先生をお招きして、障害者学習支援の現状と課題などをご講演頂きます。その上で、特別支援と美術や工芸の関わりなどについて、高見暁子先生、東京藝術大学の本郷寛先生と豊福誠先生による、各現場から発信される鼎談は、様々な学びを得る又とない貴重な機会となります。

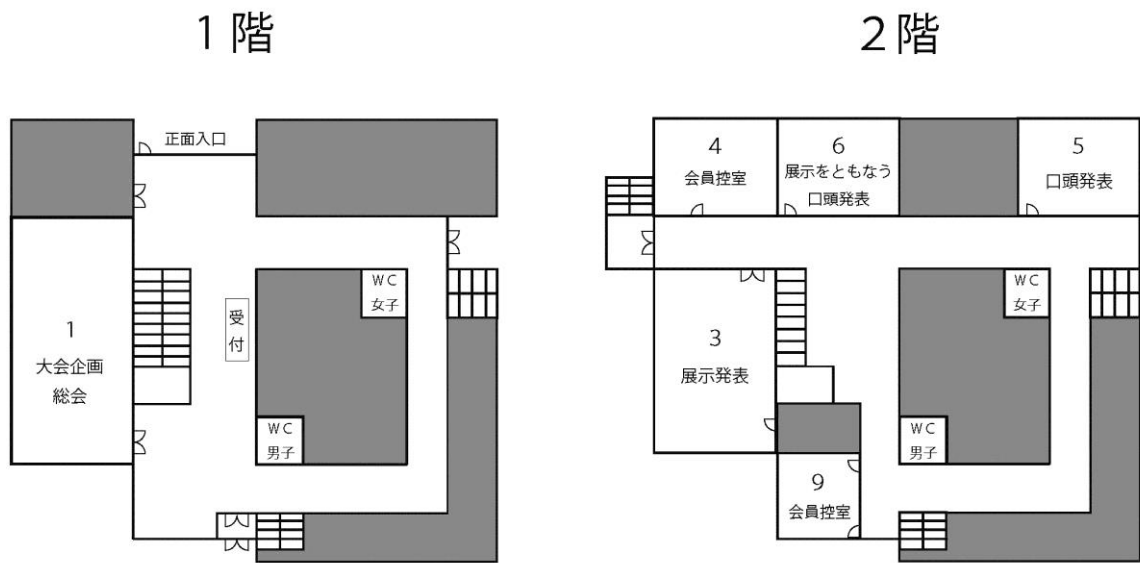
17:00 ~ 18:30 懇親会 (会場: 大学美術館内 大浦食堂)

展示発表（会場：東京藝術大学 美術学部中央棟 第3講義室）

9:30 ~ 17:00

発表者：大河原 典子、大小田 万侑子、片岡 浩、西山 大基、福岡 龍太

<中央棟内 案内図>



※部屋の数字は講義室番号を表す

東京藝術大学上野校地へのアクセス

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

【 JR 】 上野駅・鶯谷駅 下車徒歩10分

【 地下鉄 】 銀座線・日比谷線上野駅 下車徒歩15分 千代田線・根津駅 下車徒歩約10分

【 京成電鉄 】 京成上野駅 下車徒歩15分

【 都営バス 】 上26系統（亀戸←→上野公園）谷中バス停 下車徒歩約3分

【 台東区循環バス 】 東西めぐりん東京芸術大学バス停下車すぐ

< 参加費 >

■大会参加費 ¥3,000 （学生 無料）

■懇親会費 ¥3,000 （学生 ¥2,000）

※本研究大会には会員以外の方でも自由に参加できます。

※大会運営の都合上、参加希望者は事前に事務局（電話：050-5525-2266）までお申し出下さい。